よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信

十五号
2008.10

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：２００８年１０月１日
〒７８１－５３１０
高知県香南市赤岡町５３８
Tel.Fax ０８８７－５７－７１１７
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/

シリーズ 絵金百話

第十四話　小さなサムライ

INFORMATION

稀代のジャズハーモニカプレーヤー
‘森澤郁夫’来る！

蔵でJAZZ Vol.2 開催決定！

カウンターバーあります

日時：11/23（日・祝）
午後７時開演（6時半開場）
場所：絵金蔵

＊チケット 2500 円　絵金蔵にて販売（前売のみ）。
電話、ファックス、Eメールでのご予約も承ります。
Tel./Fax ０８８７－５７－７１１７
ekingura@mxi.netwave.or.jp

森澤郁夫 ： ジャスハーモニカ

1967 年，高知県安芸市出身。国立音楽大学音楽学部器楽科（クラリネット専攻）卒業。1988 年，第 18 回 F.I.H. ハーモニカ・ジャパン・10 ホールズ・ダイアトニック部門第 1 位。2002 年，アジア・パシフィック・ハーモニカ・コンテスト（日本・厚木）ブルース・ハーモニカ部門およびクロマチック・ハーモニカ部門 Bronze Prize，フリースタイル部門 Silver Prize ほか。
クロマチック・ハーモニカとブルース・ハーモニカを併用し，ジャズ・スタンダード，ビバップ演奏を中心にジャズ・ハーモニカ奏者として活動中。著書『ROOTS!　BLUESHARP』（ドレミ楽譜出版社）。『The Real Book Blues-Hamonica』（創風社）シリーズの編集・監修。

まちの素敵を探して、歩いて。

あかおカルタで町歩き

★町歩きカバンをお貸しします★

参加方法　絵金蔵受付にて参加受付。受付表に名前を記入し、町歩きセットー式が入ったカバンをお受け取りください。
※ 荷物預りあり（無料）

受付時間　午前９時～午後３時半
（絵金蔵開館中）
午後４時半までに絵金蔵にお戻りください

参加料　300 円（ラムネ代込み）

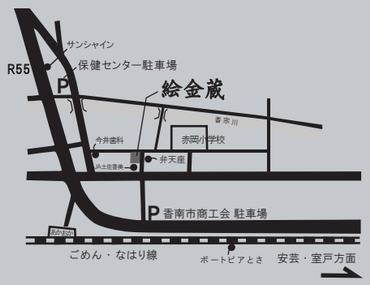
お問い合わせ
絵金蔵　TEL. 0887-57-7117
※ 団体の場合は要予約

〔絵金蔵〕

開館時間
午前9時～午後5時
（入館は午後4時半まで）

観覧料
大人500円、高校生300円
小・中学生150円
（15名以上の団体は各50円引き）

休館日
毎週月曜日
（月曜が祝日の場合は火曜）
12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵（通称・絵金）。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

年に一度
：絵金の文化を守るため
伝承
：次の世代へ伝えるため
縁結び
：地域を超えて世代を超えて

絵金百話

第十四話　小さなサムライ

伽羅先代萩　御殿（めいぼくせんだいはぎ　ごてん）

＜ 概 要 ＞

奈河亀輔作『伽羅先代萩』は安永6年（1777）4月、大阪・嵐七三郎座で歌舞伎狂言として初演されました。万治から寛文年間（1658～73）にかけて続いた奥州仙台藩伊達家のお家騒動を題材にした作品ですが、実際の事件をそのまま脚色することが厳しく制限されたこの時代、他の多くの時代物同様に本作も時代設定を室町時代に、登場人物の名も変えてつくられています。伊達騒動は有馬・黒田と並ぶ三大騒動といわれ多くの作品に描かれてきましたが、本作は人気が高く、これらの中心的存在といえるでしょう。初演より大当たりをとり、翌年7月には累（かさね）の筋を加えた『伊達競阿国劇場』が江戸・中村座で上演されます。その後両作はそれぞれ人形浄瑠璃化され、歌舞伎から人形芝居へとうつされた珍しい作品となりました。

歌舞伎による本作のストーリーは奥州の雄藩足利家を舞台にはじまります。当主頼兼（よりかね）はお家横領をたくらむ一味に仕組まれて廓通（くるわがよ）いの味を覚え、藩政は乱れていました。その後隠居させられた頼兼のあとを継ぐのが幼君鶴千代（つるちよ）で、乳母政岡（まさおか）は鶴千代をお家横領の魔の手から守るため、奥殿の外へ一歩も出さず必死に守っています。そこへ陰謀をたくらむ山名宗全（やまなそうぜん）の妻栄御前（さかえごぜん）が毒入りの菓子を持参し鶴千代に勧めますが、政岡に言い含められた息子千松（せんまつ）が真っ先に毒見し、悪事発覚を恐れた一味の局八汐（つぼねやしお）にその場で惨殺（ざんさつ）されてしまうのでした。しかし顔色ひとつ変えない政岡をみて栄御前は鶴千代と千松を取り換えたものと思いこみ、一味の大事な連判状（れんばんじょう）を政岡に預けます。ひとりになって我が子の亡骸を抱え泣き崩れる政岡の愁嘆場（しゅうたんば）は本作の大きな見せ場で、政岡は古来より女方最高の大役、難役といわれています（参考『国立劇場歌舞伎公演記録集9　伽羅先代萩』2006年3月）。

毒入り菓子を今まさに食べようとする鶴千代と必死の形相でその手をつかむ政岡、衝立（たて）の蔭で腰をかがめ飛び出そうとする千松、息を詰め見守る栄御前、もはや企みは成功したといわんばかりに目を細め笑う八汐…、絵金は鶴千代に視線を集中させながら、それぞれのキャラクターとその内面までも描きわけ、臨場感あふれる画面をつくり出しました。今回ご紹介する作品にも彼の真骨頂が存分に発揮されています。

めざせ！絵金マスター

蔵のお・ま・け

～　なぞなぞチャレンジ　脇役シリーズ　～

絵金蔵が収蔵する23点の屏風絵の中から出題します。描かれている芝居の題名、場面（段）名を当てて下さい。終ったら、厚紙に貼ってカルタにしてね。

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

Ⓔ

Ⓕ

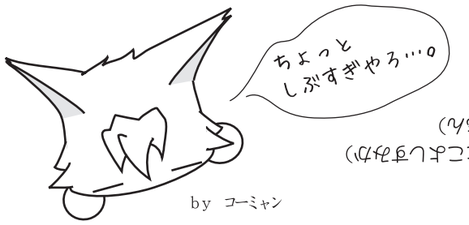
Ⓖ

Ⓗ

Ⓘ

〈答え〉

Ⓐ花式いろは縁起（旧称、二月堂良弁杉の由来）
Ⓑ義経千本桜（よしつねせんぼんざくら）、鮓屋（すしや）
Ⓒ競伊勢物語（はでくらべいせものがたり）、春日野の里小笠住家（かすがののさとこよしすみか）
Ⓓ木下蔭狭間合戦（このしたかげはざまかっせん）、石川五右衛門（いしかわごえもん）
Ⓔ伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）、御殿（ごてん）
Ⓕ伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）、御殿（ごてん）
Ⓖ義経千本桜（よしつねせんぼんざくら）、鮓屋（すしや）
Ⓗ菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）、寺子屋[じたれく の]
Ⓘ菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）、寺子屋[じたれく の]



by　コーミャン

歌舞伎による
『伽羅先代萩』床下の場　STORY

お家乗っ取りの陰謀から主君を守る忠臣荒獅子男之助が鉄扇を持ち、妖術で鼠に化けた仁木弾正を捕え踏みつける場面。歌舞伎では男之助が見得をきりながらセリ上がります。

「アヽラ怪しやな。今荒獅子男之介照秀が、倭人（ねいじん）ばらの讒言（ざんげん）によって、御目通りを遠ざけられ、御寝所（しんじょ）間近（まぢか）え床下に、宿直（とのい）なすともイザ知らず、伺い寄ったるドブ鼠、うぬもただの鼠じゃあんめえ。この鉄扇を喰らわぬ内、一巻渡し消えて無くなれエェ！」

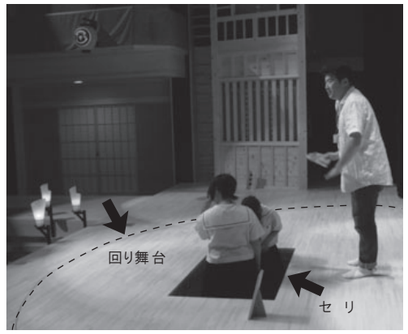
この後鉄扇を喰らわされた鼠はスッポンに飛び込みます。その穴より煙がパッと立ち、人間に戻った仁木弾正が眉間に傷を付けながら連判状をくわえてセリ上がり、悠々と去っていくのでした。

「伽羅先代萩」御殿の荒獅子男之助
絵金／白描画
香南市香我美町・吉川登志之氏所蔵

☆ セリ

舞台の床の一部を切り抜き、その上に演者や道具を乗せて上下させる機構。宝永年間（1704-11）に樋口半右衛門が考案したものといわれ、歌舞伎では宝暦３年（1753）に大阪大西芝居で上演された『傾城天羽衣（けいせいあまのはごろも）』に作者並木正三の工夫で最初に使われました。

弁天座（香南市赤岡町）

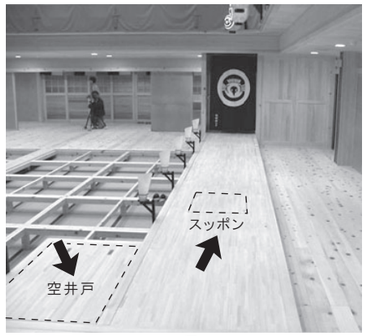


舞台下「奈落」の様子

☆ スッポン・空井戸

セリと同じ仕組みで花道の七三（しちさん）と呼ばれる場所に設けた切穴をスッポンと称し、忍者や妖怪、変化などの出入りに使われてます。
空井戸（からいど）は香川・金丸座に残る空枠で奈落に通じ、芝居の中で井戸として使われるほか、役者の早替りなどにも使用されます。下の写真は絵金蔵に隣接する芝居小屋「弁天座」に金丸座を模してつくられた空井戸とスッポンです。

弁天座（香南市赤岡町）

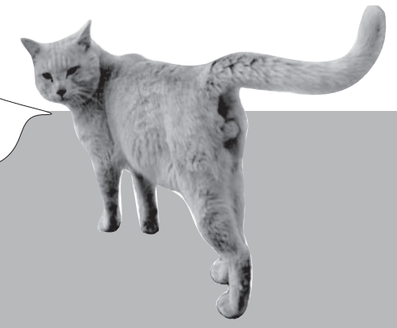


舞台下「奈落」の様子

絵金蔵がで・き・る・まで★

―――― PartV 「親子赤岡探偵団」編

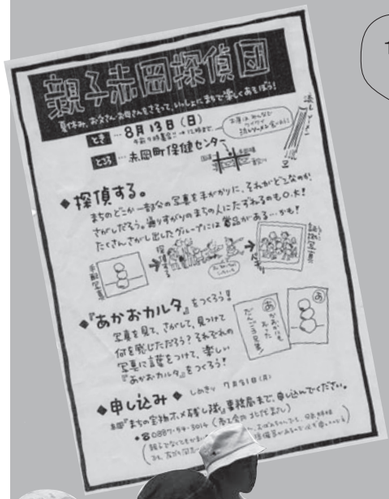
平成17年2月11日にオープンした絵金蔵はまだ3歳と7ヶ月。
ここに至るまでには話せば長い道のりがありました・・・・。
まちづくりをめぐって、さまざまなディスカッションを重ねてきた地域の人々のユニークな試みをご紹介します。



「親子赤岡探偵団」

平成10年8月

平成8年7月、赤瀬川源平氏、藤森照信氏、南伸坊氏、林丈二氏、梅原真氏を団長に赤岡探偵団を結成し、赤岡の不思議発見を行いました。その「不思議」を記録した写真をてがかりに、今度は赤岡の子たちが親と一緒にそのありかを探してみよう、さらに見つけた写真に言葉をつけて「あかおカルタ」もつくってみよう、ということになりました。

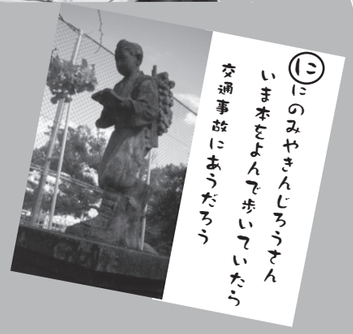


1. くじびきでエリアを決める
2. 手配写真と地図を手に場所を探す
3. 見つけたらポラロイドカメラで証拠写真を撮る
4. 写真の好きなものに言葉をつけて、カルタをつくる
5. 表彰式＆流しそうめん

手配写真

一楽しいことは、自分で見つけるもの。
面白いことは、すぐ足もとにある。

この試みを振り返るとそんな言葉が浮かびます。
子供たちのやわらかな感性と笑顔が大人にもエネルギーを与えたようです。彼らの作った「あかおカルタ」は絵金蔵の「町歩きカルタ」に受けつがれています…



■親子の感想
- 子供がこんなに町のなかの事を知ってると思わなかった。
- みんなで探したり、人にきいたりして探したのが楽しかった。
- 初めて町をたんけんしてとっても楽しかった。
- 子供の目線って面白い！

絵金を、読む。

伽羅先代萩　御殿

二曲一隻屏風/紙本著色/176.0×161.5㎝
赤岡町本町二区所蔵

■ 妖術を使って

政岡が息子千松のかたきをとったあとの場面、「床下の場」が描かれています。讒言によって遠ざけられながら、床下で敵の様子をうかがっていた荒獅子男之助は連判状をくわえさった鼠の正体を仁木弾正と見破りますが、妖術によってまんまと逃げられてしまいます。

■ サア、サア、サア！

「ヤア頼朝公より下さるゝ御菓子。何疑ふて頂戴させぬ。是非此栄が食べさせる。」と無理やりにでも食べさせようとする栄御前。

■ あらわな心

栄御前と共に毒入りの菓子をすすめる八汐。鶴千代の方にすり寄りながら、鉄漿の口をみせ、にんまりと笑っています。上下に激しくうねる太い衣の線、描かれた骸骨が八汐の心をあらわすかのよう…。この後千松に懐剣を突き立て、平静を装う政岡に向い**「是でもこなたは何ともないか。ヤ是でもか」**とむごたらしく惨殺してしまいます。

■ ただお主の為に。

「コレかか様。侍の子というものはひもじい目をするが忠義じゃ。また食べる時には毒でもなんとも思わずに、お主のために食べるものじゃと、云わしゃったゆえ、わしゃ待って居ります。」主君鶴千代と共にひもじさに耐えこの後、母にいい含められた通り毒殺の企みの犠牲となる千松。

■ おれはちつとも空腹には無いぞよ！

「大名といふ者は、飯もなにも食べずにかう坐って居る者ぢや。これ乳母、おれは強い、つわものじゃ。」
暗殺を防ぐため一日一度の食事でがまんしている鶴千代。そんな幼君も目の前に菓子を出されると、つい…

物語る小道具ー1

鶴千代君お気に入りの雀。空腹に耐えかねる君を慰めようと政岡は千松に鳥籠を持ってこさせますが、鶴千代は健気に振舞いながらも「アレアレ雀の親が子になにやら喰わし居る。余もあのように早う飯が食べたいわいのう。」と雀の子までもうらやむ様子。

物語る小道具ー2

衝立に描かれる鷹図。さりげなく配された画中の絵ですが、狩野派絵師だった絵金の力量を伝えています。

持たせし菓子箱差し出せば、八汐引っ取り蓋押し開き、「テモマア見事、結構なこのお菓子、イザ召しませ」と差出す*1。

10月の蔵の穴で本物を公開中！

伽羅先代萩 御殿　主要登場人物

- 足利家当主 足利頼兼……鶴千代
  - 乳母 政岡 ― 千松
  - 近習 荒獅子男之助
- VS
- 足利家執権 山名宗全 ― 栄御前
- 足利家 兄 仁木弾正 ― 妹 八汐

― あらすじ ―

足利家の幼君鶴千代の乳母政岡はお家横領の陰謀から守るため、奥殿へは男を一切近づけず、また毒殺を防ぐため自ら飯を炊き、鶴千代に食べさせている。

そこへ陰謀を企む山名宗全の奥方、栄御前が見舞いにやってくる。その見舞いの毒入りの菓子を鶴千代が食べようとしたところへ、政岡にかねてより言い含められた息子千松が飛び出し、菓子を口にする。たちまち苦しみ出す千松の様子に毒殺の陰謀をさとられまいと、その場にいた仁木弾正の妹、八汐は無礼者として千松を刺し殺す。

その光景をみながら顔色ひとつ変えない政岡を見て、栄御前は政岡が鶴千代と千松を取り換えたものと思いこみ、一味の連判状を政岡に預けて帰る。一人になった政岡は殺された息子の前で嘆き悲しむ。その様子を見た八汐は政岡に斬りかかるが逆に殺される。

この時政岡の懐から落ちた連判状を妖術で鼠に化けた仁木弾正が持ち去る。一度は忠臣荒獅子男之助によって捕えられるが、隙をみて逃げ出し、人の姿となって悔しがる男之助を尻目に悠然と立ち去る。

国立劇場歌舞伎公演記録（昭和63年12月上演）*1　参照

〔参考文献〕
*1『開場40周年記念　国立劇場歌舞伎公演記録集9　伽羅先代萩』ぴあ株式会社　2006年4月
*2『浄瑠璃名作集下』有明堂文庫　1923年7月
*3『歌舞伎事典』平凡社　1993年4月
*4『歌舞伎登場人物事典』白水社　2006年5月
*5『絵金展　土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館　1996年
*6『絵金蔵収蔵品目録』赤岡町　2005年2月
*7近森敏夫『絵金読本』香南市商工水産課　2006年3月　改訂版